

令和5年度 高知県立高知北高等学校
第1回開かれた学校づくり推進委員会



日 時 令和5年7月20日(木)16:00~

場 所 高知北高等学校 プール棟会議室

次 第

- 1 委員長 挨拶
- 2 自己紹介
- 3 生徒会活動についての報告、質疑・応答
- 4 高知北高等学校の取組と現状についての報告
- 5 質疑応答・協議
協議題「高知北高等学校の取り組むべき課題」
- 6 その他
- 7 副委員長 挨拶

令和5年度高知県立高知北高等学校教育方針と各課程の重点目標

□ 本校の教育方針

「あったかな学校づくり」を目指し、目標に向かって柔軟に学び、チャレンジできる環境づくりと学力向上に努める。

1 豊かな心を育む教育の推進

①教育相談体制の充実

②自主活動の育成・活性化

2 学習意欲の向上

③教育環境の整備

④基礎学力の定着・向上

3 進路保障の充実

⑤基本的な生活習慣の確立

⑥進路保障の体制の強化

□ 昼間部重点目標

1 基礎学力の定着と学習意欲の向上

2 規則正しい生活習慣の確立

3 教育相談の充実

4 進路指導の充実

5 教育環境の充実

6 人権教育の充実

□ 夜間部重点目標

1 基本的な生活習慣を確立し、自立を促す教育の推進

2 生徒一人一人の心の成長を促す教育の推進

3 生徒会・部活動など特別活動の活性化

4 生徒の希望進路の実現

□ 通信制重点目標

1 環境を整える

2 基礎力を身に付ける

3 社会の形成者として育てる

高知北高等学校の取組と現状についての報告 「定時制昼間部」 資料

1 在籍生徒数（令和5年5月1日時点）

1年次			2年次			3年次			4年次以上			計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
28	22	50	42	20	62	29	16	45	3	3	6	102	61	163

2 主な年間行事

前 期	4月	始業式、入学式、対面式、新入生オリエンテーション、身体測定、心臓検診 特別講座開講式、個人面談、結核検診、内科検診、PTA役員会、遠足
	5月	歯科検診、検尿、生徒総会、PTA総会、学校開放週間
	6月	高知県定通体育大会、前期中間考査、保護者面談
	7月	生徒集会、防災訓練、第1回開かれた学校づくり推進委員会、中高連絡会 リーダー研修
	8月	生徒集会
	9月	前期末考査、前期終業式、ホームマッチ、PTA役員会、修学旅行
後 期	10月	後期始業式、教科登録説明会、高知支部定通体育大会、愛校作業 体験入学
	11月	文化祭、後期中間考査
	12月	ホームデー、生徒集会
	1月	生徒集会、防災講話、特別講座閉講式、PTA役員会、後期末考査
	2月	後期末考査、防災訓練、第2回開かれた学校づくり推進委員会、 卒業ライブ
	3月	卒業式、A日程、三者面談、修了式、B日程、転編入試

3 生徒指導方針と取組

(1) 指導目標

- ① 基本的な生活習慣の確立を図る
- ② 通学用車両の安全運転指導を徹底する
- ③ 生徒会活動、部活動の充実を図る
- ④ 日常生活の指導充実に努める
- ⑤ 環境美化の指導充実に努める
- ⑥ 家庭との連絡を密にする

(2) 生徒の実態

① 本校入学までに不登校（長期欠席）等を経験している生徒の割合

R3入学生 49.2% R4入学生 52.9% R5入学生 44.0%

② ①の生徒のその後の動向

	1学年前期中間までの欠席日数10日以内の割合	1学年の欠席日数30日以内の割合	1学年の退学・転籍等の割合	2学年の欠席日数30日以内の割合	2学年までの退学・転籍等の割合
R5入学生	86.4%				
R4入学生	66.7%	47.2%	19.4%		
R3入学生	74.2%	51.6%	19.4%	38.7%	45.2%

③ 高知県オリジナルアンケート結果（令和4年度結果）

- ・自己肯定感に関する項目の肯定群 北高校 40.1%（県平均 64.8%）
- ・社会性に関する項目の肯定群 北高校 69.1%（県平均 83.3%）

④ 特別な支援を必要、もしくは必要と思われる生徒の割合

入学生に占める割合は高い。R3入学生では、その内約半数が退学・転籍等をしている。

(3) 生徒指導上の問題点

① 例年5月連休明けから次第に欠席、遅刻、早退が増加する傾向が見られる。個別対応により、少しずつ登校ができるようになった生徒がいる一方で、目的意識が低く、現段階で単位修得が難しい生徒が出てきている現状がある。

② スマホ等の情報端末への依存度の高い生徒が多い。授業中の情報端末機器の使用については、年度当初から教職員全員で取り組み、指導を受ける生徒は少ない。

③ 落ち着いた生活を送ることができている生徒が大半であり、生徒指導件数は少ない。

(4) 生徒会活動

生徒会執行部は現在13名で構成されている。新型コロナウイルス感染症対策のため、これまでは生徒会行事を簡素化していたが、例年どおりの活動に戻していこうとしている。今年度は学校行事としてホームマッチ、文化祭、卒業ライブ等を計画している。また、学校行事以外でも、生徒会新聞「ひまわり」の発行やクリーンアップキャンペーン、挨拶啓発活動、七夕やクリスマスツリーの飾り付け、保育園との連携事業、岡山県立鳥城高等学校生徒会とともにリーダー研修に取り組むなど、活動の幅を広げていこうとしている。

(5) 部活動

運動部7部・文化部16部が活動している。運動部では、バドミントン部、卓球部が高知県定通体育大会に参加した。今年度は従来どおりの全校生徒による応援を受けて、熱戦を繰り広げた。バドミントン部は男子団体優勝・個人優勝、卓球部は男子個人3位という結果であり、全国大会に出場する予定である。

文化部については、それぞれの目標に向かって活動を継続している。

4 進路状況

進路指導の充実に取り組んできたが、進路確定者の割合は昨年度と比べて低くなっている。

(R2:68.2%→R3:68.5%→R4:58.2% 下表参照) 大学進学は7名であった。進路についての意識や興味をもてない生徒が多いため、1、2年次からの進路ガイダンスの取組をさらに充実させていきたい。

科別	性別	項目別	卒業生	進 学 者		就 職 者	そ の 他
				大 学 等	専修学校等		
普通科	男		29	2	8	5	14
			26	5	4	8	9
	計	55	7	12	13	23	
割合				12.7%	21.8%	23.6%	41.8%

1 生徒指導目標

- (1) 基本的な生活習慣を確立し、自立を促す教育の推進
- (2) 生徒一人一人の心の成長を促す教育の推進
- (3) 生徒会・部活動など特別活動の活性化
- (4) 生徒の希望進路の充実

2 生徒の実態

- (1) 不登校経験者や中途退学経験者、支援の必要な生徒など様々な生活体験者が多い。学校への出席率は高いが、特定の生徒について、欠席、遅刻、早退や長期欠席の傾向がみられる。
- (2) 将来の目標に向けて努力している生徒が多く、授業や部活動・生徒会活動で頑張っている生徒もいる。また、主に経済的な理由からアルバイトを行っている生徒がおり、貴重な実体験となり、就職などに結び付いている。

3 生徒指導上の問題点

- (1) 全体的に繊細な生徒や様々な悩みを抱えている生徒がいるため、常に情報共有を行い、全教職員が共通認識のもとに配慮して指導している。
- (2) 欠席が多い生徒や学校に来ているのに授業を欠席してしまう生徒、早退してしまう生徒に対して、日々生活指導は行っているが、改善が厳しい生徒もみられる。

4 生徒会活動

生徒会執行部は現在8名。4月の対面式に始まり、5月新入生歓迎ホームマッチを実施。7月下旬には、姉妹校である岡山県立鳥城高校生徒会との合同リーダー研修（昼間部の生徒会も参加予定）を香南市野市町にある高知県立青少年センターにて実施するよう計画をしている。

5 部活動

6 体育部・6 文化部がある。運動部について、6月の定通県体は、運動部の部員の減少によりバトミントン部の競技のみが参加、全校生徒による応援も実施した。今後は、10月の高知支部体育大会に向けて、活動をしていく。

1 教育目標

- (1) 環境を整える
- (2) 基礎力を身に付ける
- (3) 社会の形成者として育てる

2 特色

- (1) 自分のペースで学習しながら、卒業を目指す。単位制であるので学年の区分や留年はなく、他校で修得した単位を活かすことができる。
- (2) 生徒の年齢層は幅広く、仕事や家事等と両立をめざす者も数多く在籍している。
- (3) ハートフル・ドア（子どものこころ診療医、スクールカウンセラー、ピアサポーター等）によるサポート体制がある。
- (4) 自立支援のため、若者サポートステーションや教育研究所等外部機関と連携している。

3 学習と卒業

- (1) レポート（課題プリント）を作成し、添削指導を受ける。（教科書や学習書を参考にする。）
- (2) スクーリング（面接授業）は、決められた時間数の出席が必要である。（日曜日・水曜日の9:00～17:00）
- (3) 定期試験は年間3回（夏季・秋季・年度末）あり、合格すれば単位を修得できる。
- (4) 卒業するためには、特別活動（各種学校行事・ロングホームなど）に決められた時間数の出席が必要である。
※ 生徒必携…一人一人が常に持ち歩き、自分の学習の記録を毎日記入するようになっている。

4 生徒指導方針：自律と自己責任

- (1) 重点目標
 - ・スクーリングマナーの向上（情報通信端末機器の無断使用禁止）
 - ・学校敷地内禁煙の徹底と美化意識の向上
 - ・生徒リーダーの育成
- (2) 主な取組
 - ・巡回指導（休み時間等）による予防と個人指導
 - ・保護者や外部機関との連携
 - ・北高通信（年11回）の発行
 - ・リーダー研修、生活体験発表会
 - ・安全教育と命を守る啓発
交通事故防止、防災、不慮の事故（水難事故等）防止と命を守る啓発

その他

- 第2回開かれた学校づくり推進委員会 令和6年2月実施予定
- 学校評価アンケートの実施について

※ 開かれた学校づくり推進委員会 要綱

(目的)

第1条 学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、一体となって子どもたちの育成に取り組むため、開かれた学校づくり推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 委員会は、学校長委嘱又は任命した委員で構成する。

- (1) 生徒の代表
- (2) 保護者
- (3) 地域の代表
- (4) 教頭・事務長及び教職員
- (5) その他学校長が必要と判断する者

(任期)

第3条 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

第4条 委員会に委員長及び副委員長1名を置く。

- (1) 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。委員長はPTA会長があたる
- (2) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(運営)

第5条 委員会の運営については、委員長が招集し主宰する。

(協議事項)

第6条 委員会は、第1条の目的を達成するために次の協議を行う。

- (1) 地域に開かれた学校づくりに関すること。
- (2) 学校・家庭・地域の相互の理解と協力の推進に関すること。
- (3) その他委員会において協議を要する事項。

(事務局)

第7条 委員会の事務局は、高知北高等学校 昼間部内に置く。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるほか、本会の運営について必要な事項は、委員会の協議で定める。

附則

この要綱は、平成30年7月24日から施行する。